

(公財) 都市づくりパブリックデザインセンター

## 参加者募集 (板橋区加賀地区)

当財団では、質の高い都市（パブリック）空間の創出、美しいまちなみ景観づくりに先進的に取り組まれている地区の視察を毎年実施しています。今回は、平成30年度都市景観大賞「都市空間部門」特別賞を受賞した「板橋区加賀地区」（東京都板橋区）を視察します。

同地区は、陣内秀信・同部門審査委員長より「旧大名屋敷が時代とともに土地利用の大きな変遷を経て現在、地元の『まちづくり協議会』によって、まさに住民の力で緑が連携する豊かな環境を産み出している価値ある例」と高く評価されました。

この加賀まちづくり協議会の方より、レクチャーを受け、その後視察します。

■開催日時：平成30年11月21日（水）13：30～15：30頃  
（受付開始：13：15）

- 1) 概要説明（1時間程度） 板橋区加賀地区（概要）
- 2) 現地視察（1時間程度） 同地区

■集合場所：東板橋体育館3階第3会議室  
（東京都板橋区加賀1丁目10-5：別添地図を参照して下さい）

<交通手段> 都営地下鉄三田線板橋区役所前駅下車・徒歩8分、JR 埼京線十条駅・徒歩10分

バス：国際興業バス（王22系統・王子駅行）「板橋駅」→「東板橋体育館入口」下車

■募集人員：20名程度

■参加費：2,000円/人【賛助会員・学生：無料】  
（現金不可。「参加申込フォーム」に記載の銀行口座にお振込下さい）

■講師・視察案内：加賀まちづくり協議会の皆様

■参加申込・お問い合わせ：(公財) 都市づくりパブリックデザインセンターHP  
の「国内視察」ページに掲載する「参加申込フォーム」よりお申込み下さい。  
Eメール：info@udc.or.jp TEL：(03) 6912-0799

申込期限：平成30年11月14日（水）



# 特別賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

## 板橋区加賀地区

所在地 東京都板橋区  
地区面積 約 48.2 ha  
応募者 加賀まちづくり協議会

### 地区の概要

当地区は、東京都板橋区の南東部に位置し、地区の中心を石神井川が流れる水と緑豊かな地区である。加賀前田藩下屋敷跡（江戸時代）に、陸軍兵器工場（昭和前期）が立地し、戦後には大規模研究開発施設や事業所が立地、その後、バブル崩壊やデフレの進行に伴い、事業所の郊外移転が続き、大規模事業所跡地には大規模マンションが立地する等、土地利用転換（平成以降）の歴史を有する。

戦後のめまぐるしい土地利用転換が続いたにも関わらず、既往の地区内の景観・歴史的資源は十分に残されている。特に協議会の取組開始以降は、各大規模開発時や公共施設整備・改修において、公共的空間を優先した施設整備が実現し、自然と調和した建物、外構づくりや新たな史跡や緑空間等が保全・整備され、美しい街並みが形成されている。

地区の景観形成に関連する主な計画は、「加賀まちづくり計画（平成9年）」、「加賀一・二丁目地区・地区計画（平成14年）」、「景観形成重点地区・加賀一・二丁目地区（平成26年）」等があげられる。これらの計画策定や記載内容の運用については、地元意見集約及び計画調整の役割を加賀まちづくり協議会が担っている。



当地区の中心を流れる石神井川と緑道、学校（右中）医療施設（中奥）を仰ぐ。



地区内事業所内（研究所・事務所・福祉施設等）において自治会・協議会・区が参加する各種イベントが開催されている。

### 審査講評

加賀前田藩下屋敷にこの地区の都市的ルーツは遡る。殿様の住まいは一気に軍事工場へと転換し、その連関の元に工場、研究所、学校といった大規模施設が誕生する。住宅地は隅に極一部、商店街はない。こうした履歴を有する地区が再び大変貌を始めた時、ここを共に暮らせるまちにするためには「計画」が必要であると加賀の人たちは考えた。法的根拠をもつ計画を整えながら、それらを統べる最上位の「加賀まちづくり計画」を維持し続けた。次々と起きる大規模街区のマンション開発に対し、地区の自然と履歴を体感できる歩行者ネットワークを創出させたことが、この計画の白眉である。きめ細かく、具体的で粘り強い協議の成果は、敷地を抜ける路地に、角地のゆとりに、緑の連なりに、視線の抜けに結実し、歩けば、暮らせばすぐにその価値がわかる。そのため開発されたマンションの住民が次の開発への提案者になる。計画とは運用でもある。加賀まちづくり協議会はビジョンを描き、実現プロセスを担保し、成果を皆で分かち合うという、正統派都市デザインを推進してきた。もしこの計画がなければ現代の加賀のまちの個性はない。特別賞とは都市景観形成の王道としての加賀のまちづくりへの敬意と感謝である。（佐々木）



大規模開発時（総合設計制度を活用した大学病院建替え）の計画協議（協議会提案）により整備された防災拠点となる公開空地。



既存公園と敷地内通路・提供公園をネットワーク化し、木陰空間を創出し、各民間マンション管理組合により維持管理が行われている。